

【北海道】北海道・関東
・関西のトレーラ輸送貨物
をメインに扱うネクスト
（北海道北広島市）の岩村
大樹社長は「まだまだ先の



話ではあるが、海運業や国
際総合物流を展開するグル
ープ会社とのつながりを生
かし、将来的には世界を相

ネクスト

岩村 大樹さん

手に輸送事業を展開してい
きたい」と夢を語る。

同社は、旧東日本フェリ
ーの会社更生法適用申請を
受け、当時の親会社である
リベラ（竹本芳基社長、広
島県呉市）が2004年10

ラの物流部として事業が引
き継がれた後、陸上輸送事
業すべてを譲渡するため、
リベラと三協運輸（現三協）

が共同出資してネクストを
設立、07年3月から正式に
事業を始めた。

の知識はほとんどなく、社
員に何度も聞きながら手探
り状態でスタートだっ
た」と振り返る。

既に更生手続きを完了
し、新しい資本が入って生
まれ変わったものの、更生

夢は「世界相手に事業」

月に支援に乗り出したのに
伴い、旧東日本フェリーの
グループ会社の1つとして
吸収合併された旧東日本輸
送が前身。

合併後、存続会社のリベ

国際総合物流を展開する
三協（藤木幸三社長、横浜
市中区）から調査役として
旧東日本輸送に出向し、06
年12月のネクスト設立と同

時に社長に就任。陸上輸送

法を適用した会社だという
イメージをいまだにぬぐい
去れない面もあるという。

しかし、営業担当者にと
もに飛び込み営業を続け、
道内はもとより、関東や関

グループのつながり生かす

西方面も地道に歩いた結
果、少しずつ仕事が増え、
ここ2年間は黒字に転換で
き、ようやく周囲の反応も
変わってきた。



中には債務超過の状態を
解消する見通しが立った。
来期からが本場の勝負だと
思っている」

用途に応じたシャーシー
59両を取りそろえ、全国
ネットワーク体制を構築。
将来的には国内輸送のみな
らず、親会社の国際総合物
流事業との連携を視野に入
れ、通関業の許可を取得し、
輸出入貨物を取り扱う構想
も持っている。

設立当初に構えていた東
京、大阪、帯広の営業拠点
を昨年6月に閉鎖し、社内
体制も再構築した。「こと

1954年1月、青森県
弘前市生まれ。
（北 博樹）